

航空灯火・電気施設ブロック管理

航空灯火・電気施設については、全国を5つのブロック(北海道、東日本、西日本、九州及び沖縄地区)に分け、ブロック管理官署と巡回管理官署、被管理官署及び巡回官署等を、通信回線で接続し、遠隔での運用管理を行っている。

ブロック管理官署において、航空灯火・電気施設の常時監視を行い、障害発生時には速やかな情報収集にあたり、復旧時間の短縮を図っている。

